

表2-2

N. S.

		口腔ケアという用語をしていますか			
		知っている	知らない	無回答	合計
施設の 種類	介護老人福祉施設	504	0	1	505
	介護老人保健施設	413	0	0	414
	療養型病床群を有する病院	166	1	1	167
	療養型病床群を有する診療所	57	0	0	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	9	2	0	9
	グループホーム	512	0	1	513
	無回答	45	0	1	46
	合計	1706	3	4	1713
		口腔ケアという用語をしていますか			
		知っている	知らない	無回答	合計
施設の 種類	介護老人福祉施設	99.8%	0.0%	0.2%	505
	介護老人保健施設	99.8%	0.2%	0.0%	414
	療養型病床群を有する病院	99.4%	0.0%	0.6%	167
	療養型病床群を有する診療所	96.6%	3.4%	0.0%	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	100.0%	0.0%	0.0%	9
	グループホーム	99.8%	0.0%	0.2%	513
	無回答	97.8%	0.0%	2.2%	46
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-3

N. S.

		口腔ケアの必要性を感じるか			
		感じる	感じない	無回答	合計
施設の 種類	介護老人福祉施設	504	0	1	505
	介護老人保健施設	414	0	0	414
	療養型病床群を有する病院	165	1	1	167
	療養型病床群を有する診療所	59	0	0	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	9	0	0	9
	グループホーム	510	2	1	513
	無回答	45	0	1	46
	合計	1706	3	4	1713
		口腔ケアの必要性を感じるか			
		感じる	感じない	無回答	合計
施設の 種類	介護老人福祉施設	99.8%	0.0%	0.2%	505
	介護老人保健施設	100.0%	0.0%	0.0%	414
	療養型病床群を有する病院	98.8%	0.6%	0.6%	167
	療養型病床群を有する診療所	100.0%	0.0%	0.0%	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	100.0%	0.0%	0.0%	9
	グループホーム	99.4%	0.4%	0.2%	513
	無回答	97.8%	0.0%	2.2%	46
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-4

N.S.

		日常的にできる口腔ケアをしていますか										合 計
		洗浄	清拭	歯ブラシ	歯間ブラシ	歯石除去	舌ブラシ	入れ歯の清掃	入れ歯の調整	その他	知らない	
施設の種類	介護老人福祉施設	489	478	496	391	205	394	493	301	32	0	505
	介護老人保健施設	396	396	412	312	150	310	413	243	34	0	414
	療養型病床群を有する病院	156	161	162	126	59	136	164	76	16	0	167
	療養型病床群を有する診療所	55	51	56	33	12	37	58	22	4	0	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	9	9	9	8	5	9	9	4	1	0	9
	グループホーム	458	396	506	344	170	286	508	265	19	0	513
	無回答	40	38	44	29	15	29	45	18	1	0	46
	合計	1603	1529	1685	1243	616	1201	1690	929	107	0	1713
		日常的にできる口腔ケアをしていますか										合 計
		洗浄	清拭	歯ブラシ	歯間ブラシ	歯石除去	舌ブラシ	入れ歯の清掃	入れ歯の調整	その他	知らない	
施設の種類	介護老人福祉施設	96.8%	94.7%	98.2%	77.4%	40.6%	78.0%	97.6%	59.6%	6.3%	0.0%	505
	介護老人保健施設	95.7%	95.7%	99.5%	75.4%	36.2%	74.9%	99.8%	58.7%	8.2%	0.0%	414
	療養型病床群を有する病院	93.4%	96.4%	97.0%	75.4%	35.3%	81.4%	98.2%	45.5%	9.6%	0.0%	167
	療養型病床群を有する診療所	93.2%	86.4%	94.9%	55.9%	20.3%	62.7%	98.3%	37.3%	6.8%	0.0%	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	55.6%	100.0%	100.0%	44.4%	11.1%	0.0%	9
	グループホーム	89.3%	77.2%	98.6%	67.1%	33.1%	55.8%	99.0%	51.7%	3.7%	0.0%	513
	無回答	87.0%	82.6%	95.7%	63.0%	32.6%	63.0%	97.8%	39.1%	2.2%	0.0%	46
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

表2-5

N. S.

		口腔ケアに期待される効果													合計
		口腔疾患の予防	呼吸器感染症の予防	摂食嚥下障害の改善	口腔内改善	栄養状態の改善	平衡能力の改善	言語の改善	口臭予防	コミュニケーション	閉じこもり予防	その他	全く知らない		
施設の種類	介護老人福祉施設	493	476	467	457	383	86	322	491	308	115	8	0	505	
	介護老人保健施設	409	406	388	389	318	83	287	404	271	126	9	0	414	
	療養型病院を有する病院	163	164	157	161	120	26	120	162	111	53	4	0	167	
	療養型病院を有する診療所	56	55	44	54	35	6	27	56	22	8	0	0	59	
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	9	9	8	8	6	1	5	9	5	2	0	0	9	
	グループホーム	492	427	439	438	334	99	307	487	279	111	11	0	513	
	無回答	45	41	41	39	33	8	27	44	26	18	1	0	46	
合計	1687	1578	1544	1546	1209	309	1095	1653	1020	431	33	0	1713		
		口腔ケアに期待される効果													合計
		口腔疾患の予防	呼吸器感染症の予防	摂食嚥下障害の改善	口腔内改善	栄養状態の改善	平衡能力の改善	言語の改善	口臭予防	コミュニケーション	閉じこもり予防	その他	全く知らない		
施設の種類	介護老人福祉施設	97.6%	94.3%	92.5%	90.5%	71.9%	17.0%	63.8%	97.2%	60.8%	22.8%	1.6%	0.0%	505	
	介護老人保健施設	98.8%	98.1%	93.7%	94.0%	76.8%	20.0%	69.3%	97.6%	65.6%	30.4%	2.2%	0.0%	414	
	療養型病院を有する病院	97.6%	98.2%	94.0%	96.4%	71.9%	15.6%	71.9%	97.0%	66.5%	31.7%	2.4%	0.0%	167	
	療養型病院を有する診療所	94.9%	93.2%	74.6%	91.5%	59.2%	10.2%	45.8%	94.9%	37.3%	13.6%	0.0%	0.0%	59	
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	100.0%	100.0%	88.9%	88.9%	66.7%	11.1%	55.6%	100.0%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	9	
	グループホーム	95.9%	93.2%	85.6%	85.4%	65.1%	19.3%	59.8%	94.9%	54.4%	21.6%	2.1%	0.0%	513	
	無回答	97.8%	88.1%	89.1%	84.8%	71.7%	17.4%	58.7%	85.7%	56.5%	34.8%	2.2%	0.0%	46	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

表2-6

P < 0.05

		口腔ケアに関する問題点									合 計
		時間不足	設備不足	口腔ケア 用具不足	知識不足	理解不足	要介護者の 問題	要介護者の 非協力	その他	ない	
施設の種類	介護老人福祉施設	281	132	83	231	171	236	269	15	0	505
	介護老人保健施設	216	111	85	201	137	158	240	14	0	414
	療養型病床群を有する病院	93	38	40	89	50	62	81	4	0	167
	療養型病床群を有する診療所	25	19	17	27	21	27	31	2	0	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	7	2	4	5	1	4	5	0	0	9
	グループホーム	78	58	87	238	167	186	308	23	1	513
	無回答	17	10	10	19	14	16	27	0	0	46
	合計	715	370	326	810	561	686	981	58	1	1713
		口腔ケアに関する問題点									
		時間不足	設備不足	口腔ケア 用具不足	知識不足	理解不足	要介護者の 問題	要介護者の 非協力	その他	ない	合 計
施設の種類	介護老人福祉施設	55.6%	26.1%	16.4%	45.7%	33.9%	46.7%	53.3%	3.0%	0.0%	505
	介護老人保健施設	52.2%	26.8%	20.5%	48.6%	33.1%	38.2%	58.0%	3.4%	0.0%	414
	療養型病床群を有する病院	55.7%	22.8%	24.0%	53.3%	29.9%	37.1%	48.5%	2.4%	0.0%	167
	療養型病床群を有する診療所	42.4%	32.2%	28.8%	45.8%	35.6%	45.8%	52.5%	3.4%	0.0%	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する	77.8%	22.2%	44.4%	55.6%	11.1%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	9
	グループホーム	14.8%	11.3%	17.0%	46.4%	32.6%	38.3%	60.0%	4.5%	0.2%	513
	無回答	37.0%	21.7%	21.7%	41.3%	30.4%	34.8%	58.7%	0.0%	0.0%	46
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-7

P < 0.05

		介護計画に口腔ケアが入っているか			
		入っている	入っていない	無回答	総数
施設の 種類	介護老人福祉施設	481	15	9	505
	介護老人保健施設	396	11	7	414
	療養型病床群を有する病院	162	1	4	167
	療養型病床群を有する診療所	43	12	4	59
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院	9	0	0	9
	グループホーム	433	69	11	513
	無回答	44	1	1	46
	合計	1568	109	36	1463
		介護計画に口腔ケアが入っているか			
		入っている	入っていない	無回答	総数
施設の 種類	介護老人福祉施設	95.25%	2.97%	1.78%	100.00%
	介護老人保健施設	95.65%	2.66%	1.69%	100.00%
	療養型病床群を有する病院	89.20%	9%	1.80%	167
	療養型病床群を有する診療所	72.88%	20.34%	6.78%	100.00%
	老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院	100.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	グループホーム	84.41%	13.45%	2.14%	100.00%
	無回答	95.65%	2.17%	2.17%	100.00%
	合計	1568	109	36	1463

厚生労働科学研究補助金(長寿科学総合研究事業)

分担研究報告書

高齢者の口腔保健の維持増進に関する研究

—口腔ケアの現状—

分担研究者 山根源之(東京歯科大学教授)

研究要旨:全国の介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設、グループホーム各1000施設を対象に、口腔ケアに対する意識、口腔ケアに関する知識、口腔ケアの現状、歯科医療との関係を把握する目的で調査を行った。

本項では口腔ケア現状について検討を行った。

基本的な介護計画に口腔ケアが含まれている施設の約4分の1の施設で十分な口腔ケアが提供できていなかった。これは入所者の身体的問題と口腔ケアに対する非協力などの影響が大きいと思われた。

口腔ケアのマニュアルに関して、回答施設の約4分の1の施設でマニュアルがあると回答した。指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院で口腔ケアのマニュアルがあると回答した施設の割合が多く、グループホームではその割合は低かったことから施設規模の影響が示唆され、より効率的な業務遂行のためマニュアルが存在している可能性が示唆された。またマニュアル化により、口腔ケアが基本介護の中で広く提供される可能性が示唆された。

口腔ケアは口腔ケア自立の入所者にも提供されていることが多く、自立を促すといった配慮はなされていなかった。口腔ケアの主担当者はヘルパーなどの介護職員であることがわかった。口腔ケアはほとんどの施設で食後実施され、その回数も病院より多かった。

経口摂取を行っていない方への口腔ケアは経口摂取を行っている方の口腔ケアよりもレベルが低いとの結果であった。これは経口摂取を行っていない方には経口摂取を行っている方より、さらに高度な口腔ケアが必要であるとの認識がまだ浸透していないことを示唆するものと思われた。口腔ケア実施確認の担当者はほとんどの施設で「介護職員」であった。入れ歯の清掃、保管の方法についての情報は浸透していることが分かった。

A. 研究目的

本研究班は平成13年度に「急性期患者の口腔ケアへの対応に関する調査」を全国の入院施設を持つ全病院(精神科、産婦人科、小児科専門病院を除く)を対象にアンケート調査を行った。さらに脳血管障害患者の摂食障害

発生に関して入院中と退院後の実態を調査し、入院中の口腔ケア実施との関連を調査した。

これにより急性期から看護師主導の口腔ケアが積極的に行われているものの、急性期を脱し経口摂取が始まると、義歯の不適合など歯科治療の必要性

が顕在化し歯科を受診するケースが多く、早期の歯科受診の必要性が示唆された。

また摂食に対する援助及び QOL を高める口腔ケアを効率よく進めるには、入院患者の口腔機能の的確な評価をできるかぎり早期に行う必要があることが示唆された。

そこで平成 14 年度は脳血管障害発症直後の患者に対する口腔機能の評価がどのように行われているかを把握する目的で平成13年度のアンケート調査に回答した病院に対し再度アンケート調査を行った。これにより入院期間の短い病院ほど、義歯を早期から使用させている傾向があり、口腔機能の評価を行い、義歯を積極的に使用させている施設では早期に経口摂取が開始される傾向があった。また歯科と歯科衛生に関する情報が多い病院および、口腔ケアを積極的に行い、それに関心のある施設ほど、口腔機能の評価を行っていたという調査結果を得た。

つまり口腔ケアや口腔機能に対するケアやケアが早期に適切に行われることにより、患者は早期にリハビリテーション可能となり、より質の高い生活を早期に獲得できるということになる。これは医療経済的立場からだけでなく、国家資源の維持増進の立場からも注目すべきことと思われる。

次にこれら急性期を脱した者の生活の場は回復期、慢性期を経過し、在宅へと移行していく。その中で口腔の機能を維持・回復させ生活の質をより向上させていくためには、急性期、回復期、慢

性期、在宅へと口腔ケアならびに、口腔機能回復に対する働き掛けが、有機的に連携していかなければリハビリテーションを十分に得ることは出来ない。つまり患者がそれぞれの時期を過ごす病院ならびに施設、在宅のいずれか一つでも口腔ケアや口腔機能回復に対する対応や認識が大きく異なったり、低かったりした場合、リハビリテーションは遅延するばかりか頓挫、逆行する可能性を秘めている。

そこで本年度は急性期を脱した患者が生活を営む、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設、グループホームを対象に、口腔ケアに対する意識、口腔ケアに関する知識、口腔ケアの現状、歯科医療との関係を把握する目的で調査を行った。

B. 研究方法

無作為抽出した 4000 施設に対し、質問紙を用い口腔ケアに関するアンケート調査を行った。

(1) アンケート調査項目

① 口腔ケアの現状

以上 1 項目 12 設問(資料1)

(2) アンケート実施方法

1) 調査対象

対象標本は福祉情報ネットワーク「遊楽」：<http://www.u-raku.co.jp/index.htm> の検索により「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設」、「グループホーム」の4つのキーワードにて抽出された 15722 施設、母集団構成は以下の通り

- ・ 介護老人福祉施設:5068 施設
- ・ 介護老人保健施設:3008 施設、

- ・ 介護療養型医療施設 4034 施設
- ・ グループホーム:3612 施設

2) 調査票発送数

各キーワードごとの母集団から 1000 施設を無作為比例抽出し、合計 4000 施設に対し、各施設の事業主および施設長あてに調査票を郵送し、郵送にて回収した。

3) 調査方法

調査票発送数:4000 施設

調査票発送 2003 年 11 月 15 日

回収締め切り 2003 年 12 月 10 日

C. 結果

本項では全回答施設 (1713 施設)のうち「入所者(入居者)への基本的な介護計画に口腔ケアがはいつているか」との問いに対し「入っている」と回答した施設 1568 施設 (91.5%) に対して回答を求めた。

結果については回答の多かった、「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」、「指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院」、「グループホーム」の 4 施設間で有意差の検定を行った。

1. 「入所者(入居者)に対して、たてられた基本的な介護計画における口腔ケアを実施できていますか。」との問いに対し回答施設全体では「ほぼ実施できている」と回答した施設が 1110 施設 (70.8%)、「半数位は実施できている」と回答した施設は 416 施設 (26.5%)、「ほとんど実施できていない」と回答した施設は 26 施設 (1.7%) であった(図41)。施設種別に集計したところ「ほぼ実施で

きている」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:69.0%
 - ②介護老人保健施設:69.9%、
 - ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:83.3%、
 - ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:67.4%、
 - ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:67.4%、
 - ⑥グループホーム:66.7%、
- であった。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では他種の施設と比べて「ほぼ実施できている」と回答した施設の割合は有意に高値であった(表3-1)。

2. 「施設内で利用している口腔ケアのマニュアルがありますか。」との問いに対し「ある」と回答した施設は 410 施設 (26.1%)、「ない」と回答した施設 1127 施設 (71.9%) で回答した施設の4分の1の施設に口腔ケアのマニュアルが存在していた(図42)。

施設種別に集計したところ「口腔ケアのマニュアルがある」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:26.0%
- ②介護老人保健施設:31.1%、
- ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:47.5%、
- ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:20.9%、
- ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:

22.2%、

⑥グループホーム:15.2%、
であった。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では他種の施設と比べて「口腔ケアのマニュアルがある」と回答した施設の割合は有意に高値であった。一方グループホームではその割合は有意に低値であった(表3-2)。

3. 「入所者(入居者)のどのような状態の方に口腔ケアを実施しますか。」との問いに対し「自分で歯磨きできる方」と回答した施設は744施設(47.4%)、「手伝いがあれば歯磨きできる方」と回答した施設1449施設(92.4%)、「自分で全く歯磨きできない方」と回答した施設は1407施設(89.7%)であった(図43)。施設種別に集計したところ「自分で全く歯磨きできない方」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:95.0%
- ②介護老人保健施設:98.0%、
- ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:97.5%、
- ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:95.3%、
- ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:77.8%、
- ⑥グループホーム:74.1%、
であった。

グループホームでは他の施設と比べて「自分で全く歯磨きできない方」と回答した施設の割合は有意に低値であった(表3-3)。

4. 「口腔ケアを介助する際の主な担当

者はどなたですか」との問いに対し「介護職員」と回答した施設は1506施設(96.0%)、「保健師・看護師」と回答した施設609施設(38.8%)、「歯科衛生士」と回答した施設は111施設(7.1%)であった(図44)。

施設種別に集計したところ「保健師・看護師」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:27.4%
- ②介護老人保健施設:57.8%、
- ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:80.2%、
- ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:86.0%、
- ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:44.4%、
- ⑥グループホーム:13.6%、
であった。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では他種の施設と比べて「保健師・看護師」と回答した施設の割合は有意に高値であった。一方グループホームではその割合は有意に低値であった(表3-4)。

5. 「口腔ケアの回数について」尋ねたところ「1日1回」と回答した施設は226施設(14.4%)、「1日2回」と回答した施設354施設(22.6%)、「1日3回」と回答した施設は816施設(52.0%)、「1日4回以上」と回答した施設は138施設(8.8%)であった(図45)。

施設種別に集計したところ「1日1回」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:20.4%

- ②介護老人保健施設:10.1%、
- ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:11.1%、
- ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:20.9%、
- ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:44.4%、
- ⑥グループホーム:11.3%、

であった。
介護老人福祉施設では介護老人保健施設や指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所やグループホームと比べて「1日1回」と回答した施設の割合は有意に高値であった(表3-5)。

6. 「口腔ケアの実施時間」尋ねたところ「起床時」と回答した施設は 350 施設(22.3%)、「朝食後」と回答した施設 1037 施設(66.1%)、「昼食後」と回答した施設は 1031 施設(65.8%)、「夕食後」と回答した施設は 1199 施設(76.5%)、「夜(就寝前)」と回答した施設は 286 施設(18.2%)であった(図46)(表3-6)。

7. 入所者の食事について尋ねたところ「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設は 619 施設(39.5%)、「経口摂取と非経口摂取の入所者が混在」と回答した施設 926 施設(59.1%)であった(図47)。

施設種別に集計したところ「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:15.8%
- ②介護老人保健施設:26.8%、

- ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:0.6%、
- ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:18.6%、
- ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:33.3%、
- ⑥グループホーム:93.3%、

であった。
グループホームでは他の施設と比較して「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設の割合は有意に高値であった(表3-7)。

8. 経口摂取を行っている方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は 7 施設(0.4%)、「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設 281 施設(17.9%)、「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は 274 施設(17.5%)、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は 223 施設(14.2%)、「歯ブラシを使用」と回答した施設は 1417 施設(90.4%)、「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は 337 施設(21.5%)であった(図48)。

施設種別に検討を行ったところ、グループホームでは「洗浄(うがい)のみ」、「ガーゼ等による清拭」、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設の割合は有意に低値であった(表3-7)。

9. 経口摂取を行っている方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は 8 施設(0.5%)、「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設 924 施設

(58.9%)、「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は 849 施設(54.1%)、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は 387 施設(24.7%)、「歯ブラシを使用」と回答した施設は 382 施設(24.4%)、「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は 121 施設(7.7%)であった(図49)。

施設種別に検討を行ったところ、グループホームでは「洗浄(うがい)のみ」、「ガーゼ等による清拭」、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設の割合は有意に低値で、反対に「歯ブラシを使用」と回答した施設の割合は有意に高値であった(表3-8)。

10. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は 3 施設(0.2%)、「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設 64 施設(4.1%)、「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は 480 施設(30.6%)、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は 202 施設(12.9%)、「歯ブラシを使用」と回答した施設は 491 施設(31.3%)、「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は 157 施設(10.0%)であった(図50)。

施設種別に検討では施設間に有意な差は認められなかった(表3-9)。

11. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は 7 施設(0.4%)、「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設 124 施設(7.9%)、「ガーゼ等による清拭」と回答

した施設は 781 施設(49.8%)、「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は 258 施設(16.5%)、「歯ブラシを使用」と回答した施設は 86 施設(5.5%)、「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は 56 施設(3.6%)であった(図51)。施設種別に検討を行ったところ、介護老人保健施設では「ガーゼ等による清拭」と回答した施設の割合が有意に低値であった(表3-10)。

12. 「口腔の目視による口腔ケア実施の確認を行っていますか」との問いに対し「毎日行っている」と回答した施設は 962 施設(61.4%)、「週1回程度行っている」と回答した施設 174 施設(11.1%)、「月1回程度行っている」と回答した施設は 87 施設(5.5%)、「実施していない」と回答した施設 284 施設(18.1%)であった(図52)。

施設種別に集計したところ「実施していない」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:20.6%
 - ②介護老人保健施設:20.7%、
 - ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:11.1%、
 - ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:14.0%、
 - ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:22.2%、
 - ⑥グループホーム:15.2%、
- であった。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院とグループホームでは介護老人福祉施設や介護老人保健

施設と比べて実施していない」と回答した施設の割合は有意に高値であった(表3-11)。

13. 「口腔ケアの確認をする際の担当者はどなたですか」との問いに対し「介護職員」と回答した施設は 1179 施設(75.2%)、「保健師・看護師」と回答した施設 599 施設(38.2%)、「歯科衛生士」と回答した施設は 96 施設(6.1%)、「歯科医師」と回答した施設は 76 施設(4.8%)、「していない」と回答した施設は 105 施設(6.7%)であった(図53)。施設種別に集計したところ「保健師・看護師」と回答した施設の割合はそれぞれ

- ①介護老人福祉施設:34.5%
 - ②介護老人保健施設:52.0%、
 - ③指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する病院:77.2%、
 - ④指定介護療養型医療施設:療養型病床群を有する診療所:72.1%、
 - ⑤指定介護療養型医療施設:老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院:44.4%、
 - ⑥グループホーム:12.9%、
- であった。

「保健師・看護師」と回答した施設の割合は各種施設間で有意に異なっていた(表3-12)。

14. 入れ歯の清掃の方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は1施設(0.1%)、「流水で清掃」と回答した施設 534 施設(34.1%)、「ブラシを利用して清掃」と回答した施設は 1372 施設(87.5%)、「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設は 1276 施設

(81.4%)であった(図54)。

施設種別に検討を行ったところ、グループホームでは「流水で清掃」と回答した施設の割合は有意に低値であった。また指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設の割合が他種施設と比較して有意に高値であった(表3-13)。

15. 入れ歯の保管方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は 46 施設(2.9%)、「取り外してそのまま保管している」と回答した施設 50 施設(3.2%)、「水中で保管している」と回答した施設は 1426 施設(90.9%)であった(図55)。

施設種別に検討を行ったところ、グループホームでは「特に行っていない」と回答した施設の割合が有意に高値であった(表3-14)。

D. 考察

本項では基本的な介護計画に口腔ケアがはいつていると回答した施設 1568 施設(91.5%)に対して回答を求めた。また回答の多かった、「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」、「指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院」、「グループホーム」の4施設間で有意差の検定を行った。

1. 基本的な介護計画における口腔ケアを実施できているか、との問いに対し「ほぼ実施できている」と回答した施設は 1110 施設(70.8%)、「半数位は実施できている」と回答した施設は 416 施設(26.5%)、「ほとんど実施できていない」

と回答した施設は 26 施設(1.7%)であった。つまり 4 分の1の施設において、何らかの問題により、基本的介護計画における口腔ケアが提供できていないということになる。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では「ほぼ実施できている」と回答した施設の割合が他の施設と比較すると多いこと、前述の口腔ケアを実施する上での問題をあわせて考えると、要介護者に関する問題点が主に影響しているものと思われる、つまり指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では、医師や看護師などの医療スタッフも多いことから要介護者の身体的問題についてさほど問題にはならないものの、それ以外の施設では緊急時の対応に不安があり、口腔ケア提供時のストレスや誤嚥などの身体への悪影響に配慮がなされ実施の割合が減少しているとも思われる。また、入所者の ADL が高いため、口腔ケアに対する非協力などの影響もあるものと思われる。

2. 口腔ケアのマニュアルの有無に関しては回答施設の約4分の1の 410 施設が口腔ケアのマニュアルがあると回答した。施設種別では指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院で口腔ケアのマニュアルがあると回答した施設の割合が多く、グループホームではその割合は低かった。つまり口腔ケアマニュアルの有無については施設規模の影響が大きいことが推察される。つまり指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では看護師などの

医療スタッフも多いものの、医療に関する業務も多く、より効率的に業務を行うため、マニュアルが多く存在し、その一つに口腔ケアのマニュアルが存在している可能性が示唆される。このようにマニュアル化することにより、前設問のように、口腔ケアを実施できる環境も整うものと思われる。入所者に対する口腔ケアが基本介護の中で広く提供されるためには、口腔ケアマニュアルを作成することが必要であると思われる。

3. どのような状態の方に口腔ケアを実施しますか、との問いでは口腔ケア半介助および全介助の入所者にはほぼ口腔ケアが提供されていることがわかった。一方自立の入所者に関しても約半数の施設で口腔ケアを提供しているとしており、口腔ケアに関しては自立を促すといった面についてはあまり配慮されていないように思われた。

グループホームでは他の施設と比べて「自分で全く歯磨きできない方」と回答した施設の割合は有意に低値であった。これはグループホームではこれらの入所者が少ないためと思われる。

4. 口腔ケアの主な担当者については介護職員と回答した施設が 96.0%と最も多かった。保健師・看護師と回答した施設は38.8%であり、前回の病院アンケートでの 91.4%であったことから、本調査で回答した施設では、口腔ケアの主担当者はヘルパーなどの介護職員であることがわかった。また指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では口腔ケアの主担当者を保健師・看護師とした施設の割合が高値で、

グループホームではその割合が低値であった。このことから医療よりも介護の役割の大きい施設ほど、口腔ケアは介護職員の役割となることが分かった。つまり、介護の性質の大きい施設へ口腔ケアについて働き掛けを行う場合、その対象はヘルパーなどの介護職員であるということになる。

口腔ケアの主な担当者について歯科衛生士と回答した施設も 111 施設認められた。歯科衛生士の関与によりその施設の口腔ケアがどのように影響されるかは興味あるところである。これに関しては他項において検討することとする。

5. 口腔ケアの回数については 1 日 3 回と回答した施設が最も多く 52.0%であった。それ以上行っていると回答した施設をあわせると 60.8%となり、これは病院アンケートの結果 52.4%と比較して高値であった。これは今回の対象施設が病院よりも介護的性質が大きく、口腔ケアにかかる割合が多いためと考えられる。

しかし介護老人福祉施設では 1 日 1 回と回答した施設の割合が他施設よりも多く、その理由は不明である。

6. 口腔ケアはほとんどの施設で食後実施されていることが分かった。

7. 入所者の食事については「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設は 39.5%、「経口摂取と非経口摂取の入所者が混在」と回答した施設は 59.1%であった。グループホームでは「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設の割合が高値であった。

8. 経口摂取を行っている方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法について

はほとんどの施設で「歯ブラシを使用」と回答していた。

9. 経口摂取を行っている方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法については「洗浄(うがい)のみ」58.9%、「ガーゼ等による清拭」54.1%との回答が多く認められた。粘膜ブラシ、舌ブラシなどの補助具使用している、と回答した施設は少なかった。

10. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法については「ガーゼ等による清拭」30.6%、「歯ブラシを使用」31.3%という回答が多く認められた。しかし、経口摂取を行っている方と比較すると明らかに低値であり、経口摂取を行っていても口腔ケアが必要との認識がまだ浸透していないことが分かった。

11. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法については「ガーゼ等による清拭」49.8%との回答が最も多かった。

12. 「口腔の目視による口腔ケア実施の確認を行っていますか」との問いに対し「毎日行っている」施設は 61.4%であった。これは口腔ケア担当者がケア提供時に行っている確認も多く含まれていると考えられ、他者による確認は少ないように思われる。「実施していない」と回答した施設も 18.1%あり、口腔ケア実施の確認はあまり実施されていないことが示唆された。

13. 口腔ケア確認の担当者については「介護職員」が最も多く 75.2%であった。これはケア提供者すなわち確認者ということと思われる。

「歯科衛生士」と回答した施設が 96 施設、「歯科医師」と回答した施設が 76 施設あり、これについての他設問についての影響については他項にて検討することとする。

14. 入れ歯の清掃の方法については「ブラシを利用して清掃」と回答した施設が 87.5%と最も多かった。「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設も 81.4%と多く、入れ歯の清掃の方法に関する情報は浸透していると思われる。

指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院で「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設の割合が高値であったには、病院であるため感染予防という配慮から、化学的洗浄が積極的に取り入れられている可能性が示唆された。

15. 入れ歯の保管方法についてはほとんどの施設が「水中で保管している」と回答した。これも義歯の取扱いについての情報も浸透していると思われる。

E. 結論

基本的な介護計画に口腔ケアが含まれている施設の約 4 分の1の施設で十分な口腔ケアが提供できていなかった。

医師や看護師などの医療スタッフの多い指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院で「ほぼ実施できている」と回答した施設の割合が他の施設と比較すると多かった。口腔ケアを実施する上での問題から要介護者に関する問題が主に影響していることが予想されることから、指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院では、要介護者の身体的問題について問題

にはなることが少なく、それ以外の施設では対応に不安があり、実施の割合が減少しているものと思われた。また、その他の施設は入所者の ADL が高いため、口腔ケアに対する非協力などの影響も示唆された。

口腔ケアのマニュアルに関して、回答施設の約4分の1の施設でマニュアルがあると回答した。指定介護療養型医療施設の療養型病床群を有する病院で口腔ケアのマニュアルがあると回答した施設の割合が多く、グループホームではその割合は低かったことから施設規模の影響が示唆され、より効率的な業務遂行のためマニュアルが存在している可能性が示唆された。またマニュアル化により、口腔ケアの実施環境も整い、口腔ケアが基本介護の中で広く提供される可能性が示唆され、口腔ケアマニュアルの作成が重要であることが証明された。

口腔ケアは口腔ケア自立の入所者にも提供されていることが多く、口腔ケアに関して自立を促すといった配慮はなされていなかった。

本調査で回答した施設では、口腔ケアの主担当者はヘルパーなどの介護職員であることがわかった。つまり、今回の対象施設のように介護の性質の大きい施設へ口腔ケアに関する働き掛けを行う場合、その対象はヘルパーなどの介護職員であるということになる。

口腔ケアはほとんどの施設で食後実施され、その回数は1日3回以上と回答した施設が全体の 60.8%あり、病院よりも口腔ケアが提供されていることが分かっ

た。

経口摂取を行っている方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法は「歯ブラシを使用」が多く、経口摂取を行っている方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法は「洗浄(うがい)のみ」、「ガーゼ等による清拭」との回答が多く認められた。

経口摂取を行っていない方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法は「ガーゼ等による清拭」、「歯ブラシを使用」という回答が多く、経口摂取を行っていない方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法は「ガーゼ等による清拭」との回答が多かった。つまり経口摂取を行っていない方への口腔ケアは経口摂取を行っている方の口腔ケアよりもレベルが低いとの結果であった。これは経口摂取を行っていない方には経口摂取を行っている方より、さらに高度な口腔ケアが必要であるとの認識がまだ浸透していないことを示唆するものと思われる。

口腔ケア実施の確認について「毎日行っている」と回答した施設は 61.4%であった。口腔ケア確認の担当者がほとんどの施設で「介護職員」であったことから、口腔ケア担当者がケア提供時に行っているものと思われた。

入れ歯の清掃、保管の方法については「ブラシを利用して清掃」「義歯洗浄剤」「水中で保管している」という回答が多く入れ歯の清掃、保管についての情報は浸透していると思われた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産の出願・登録状況

なし

図 4 1 入所者に対して基本的な介護計画における口腔ケアを実施できているか

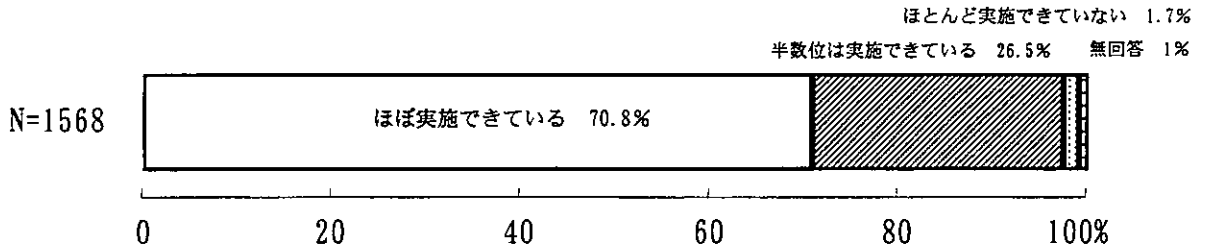


図 4 2 施設内で利用している口腔ケアのマニュアルがあるか

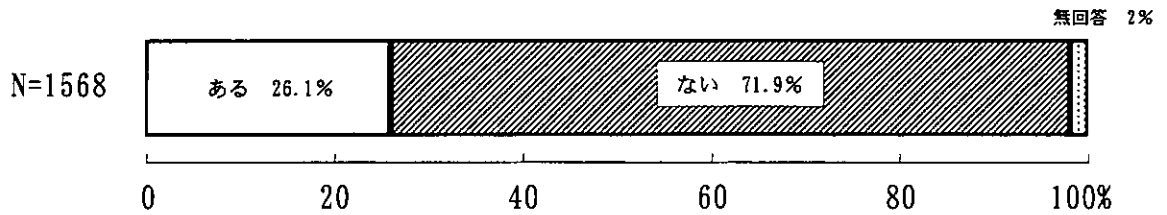


図 4 3 入所者のどのような状態の方に口腔ケアを実施しているか

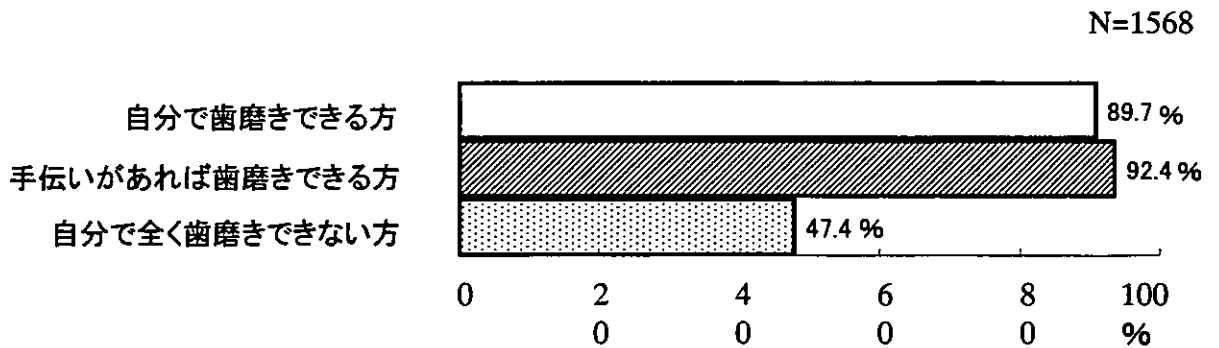


図4-4 口腔ケアを介助する際の主な担当者は

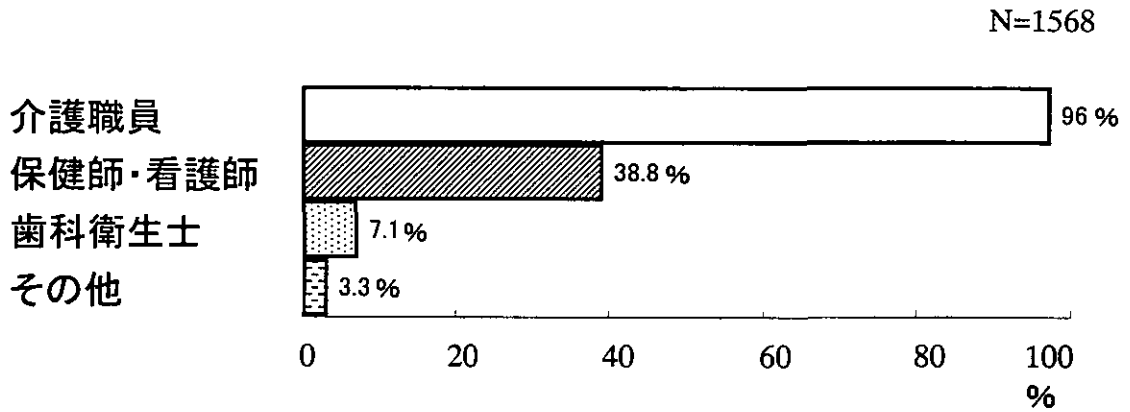


図4-5 口腔ケアの回数

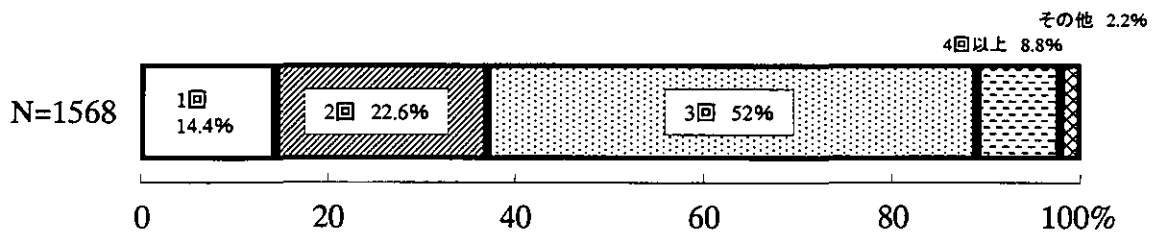


図4-6 口腔ケアをする時

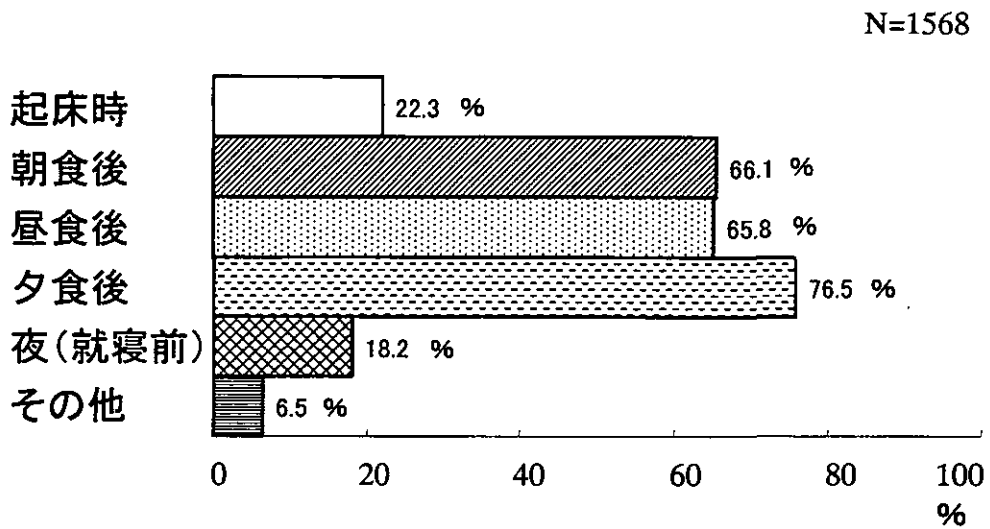


図47 入所者の食事の種類

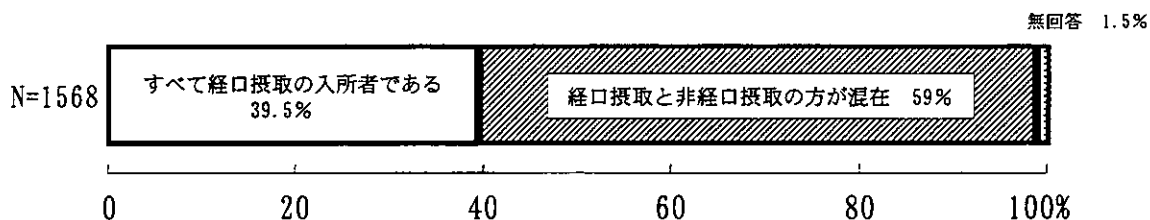


図48 口腔ケアの方法 (経口摂取 歯のある方)

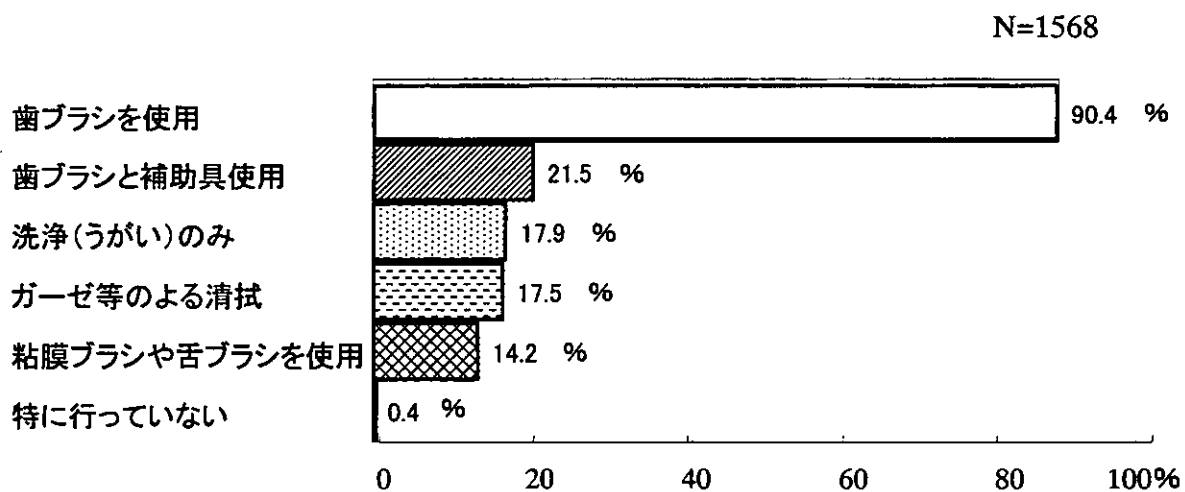


図49 口腔ケアの方法 (経口摂取 歯のない方)

